

直営

区立 保育園の増設を!



田中良区長は、「待機児童ゼロ」のかけ声のもと、認可保育園を増やす一方で、区立保育園を次々と民営化してきました。これからの5年間だけでも1園が廃止、7園が完全民営化されようとしています。

この間、新たに設置された保育園の多くは民間企業（株式会社など）が運営するものです。民間企業が運営する保育園では、劣悪な労働環境によって保育士が集団退職したり、子どもたちにまともな給食が与えられなかったりと、利益優先で子どもの命、健康、安全が危なくなります。

子どもたちの命と育ち、仲間づくりを守る区立直営保育園の増設を!

区立保育園の完全民営化が進められている

2005年 43園

- 指定管理者の導入
(高井戸保育園、高円寺南保育園など8園)
- 完全民営化(馬橋保育園、上井草保育園)

2018年 35園

- 2019年4月 杉並保育園
(17年に移転改修済)
- 2020年 中瀬保育園、井荻保育園
西田保育園
→廃止(16年から募集停止)
- 2021年 下高井戸保育園
(16年から指定管理者制度)
- 2022年 荻窪保育園
- 2023年 天沼保育園、大宮保育園
- 2024年 永福北保育園

2024年 27園

16園も削減!



▶杉並保育園

2017年に移転改築が行われたばかりの杉並保育園(梅里2)は、今年4月から完全民営化され、社会福祉法人が運営することになります。民営化のために、税金を使って建て替えたのではないのでしょうか? ほらぐちともこは区民の財産を資本に売り渡す民営化は絶対に反対です。

ほらぐちともこ通信

杉並区松庵3-39-10 メイゾンオーク1階
TEL&FAX 03(3329)8813

《内部討議資料》

info@horaguchitomoko.jp

@HoraguchiTomoko

保育の無償化ってなあに？



今年 10 月、消費税が 10%に引き上げられると同時に、保育が無償化されると言いますが、本当はどうなのでしょう？

金持ち優遇、低所得者には冷たい「無償化」

これまでは、認可保育園では世帯収入に応じて保育料が定められ、低所得世帯にはすでに減免措置がとられてきました。つまり、保育の無償化で恩恵をうけるのは金持ちです。政府の無償化予算は 8 千億円ですが、そのうち半分は年収 640 万円以上の世帯に使われることとなります。年収 260 万円以下の世帯に使われるのはたったの 1%にすぎません！

そもそも、消費増税でますます家計が苦しくなります。増税分は、法人税（大企業）の引き下げ分に当てられ、軍事費も毎年 5 兆円にふくれ上がっています。保育「無償化」を口実とした消費税こそ全廃すべきです。

区立直営保育園がつぶされる！？

国が保育料を負担するのは私立のみ（それも 2 分の 1 だけ）で、区立保育園は区の財源で全額負担しなければなりません。区立保育園を民営化したり、私立に売り渡したりして子育ての責任を放棄しようとしています。保育無償化と引き換えに区立保育園を廃止し、金もうけに変えさせることは絶対に反対です。なにより、保育は国の責任です。保育は全額国庫負担にさせましょう！

保育士さんの賃上げと労働条件改善を！

高円寺南保育園は 10 年前に指定管理者制度が導入されてから、1 億円（約 3 割）の経費削減ができたと言っています。経費削減のしわよせは、子どもたちだけでなく、保育園で働く保育士さんたちにも降りかかってきます。保育士さんたちがいきいきと働けることこそ、子どもたちの命を守る保育を実現する道です。保護者、保育士、地域のみなさんの団結で、区立直営保育園つぶしをとめましょう！



ほらぐちともこ は保護者のみなさんと一緒に

区立直営保育園を守り、

拡充させるため、たたかいます！